

活動地：山形県米沢市相生町 ～ 福島県福島市上町

歴史の道土木遺産 萬世大路保存会

団体紹介

当保存会は、米沢市万世町全戸（約千戸）が加入しており、平成3年からの活動は30年を迎えました。萬世大路という明治の偉業の財産・宝（令和2年2月に山形の宝に登録）を里山から深山まで、後世に大切に継承していくことを目的に、万世コミュニティセンターを拠点に活動しています。



萬歳の松ちゃん

令和3年度活動内容

萬世大路保存会ホームページ ⇒



“標高看板”と“散策マップ”で万世小学校校外学習のガイド

一昨年から交付金活用で樹木名札を取付け、今年は標高が分かるように10箇所に設置しました。取り付け済み計93枚の樹木名札が散策路に揃ったところに標高を表示したので、植物植生の垂直分布を説明しやすくなってガイドと散策参加者から好評で、ガイドも熱が入ります。恒例の地元万世小5年生の校外学習では、「森のたんけん手帳」と、本事業で印刷した散策マップを合わせて活用させていただきました。小雨の中でしたが、熊による皮剥ぎ杉の大木が倒れていたため解説しながら、散策しました。



衛星による標高測量の様子



二つのトンネル坑口をバックに記念撮影



今年も倒木処理作業がありました



活動を行っての感想

- 平成4年から散策活動が続くのは、栗子山の大自然と明治期最先端土木の偉業が魅力であることを再認識しました。
- JR小さな旅や宮城の観光業者によるツアーも訪れ、道の駅PRも奏功して、動植物も楽しみながらガイドできるようになりました。

中間の休憩地点で、地元「刈安」の由来となった植物「カリヤス」を手に参加者に説明する神保道子さん・・・普段は気が付かない植物です